

22日獣発第29号

平成22年4月26日

地方獣医師会会長各位

社団法人 日本獣医師会

専務理事 大森伸男

狂犬病ワクチン安全情報等について

地方獣医師会におかれては、本年度においても狂犬病予防対策事業として予防注射事業をはじめ、予防対策の普及啓発等各般の事業の推進に当たっておられることと存じます。

この度、動物用ワクチン供給メーカーの株式会社微生物化学研究所から、別添のとおり狂犬病ワクチン-TCに係る安全情報の提供がなされ、予防注射に伴う副反応及びその対応についての注意喚起がなされたところであります。

つきましては、当該安全情報の内容等ご了知の上は、当該ワクチンの使用に限らず、狂犬病予防注射の実施に当たっての事前の問診等の診察、予防注射に起因する副反応等に対する事後の臨床対応について充分留意頂くとともに、飼育者に対する接種動物の適正管理等の保健衛生指導に配慮の上、改めて狂犬病予防対策事業推進に当たられるよう関係会員獣医師に対するご指導の程よろしくお願いいたします。

(注) 本件内容の問い合わせは、長野事務局職員までお願いします。

平成 22 年 4 月 26 日

社団法人 日本獣医師会 様

京都府宇治市槇島町 24、16 番地
株式会社 微生物化学研究所

狂犬病ワクチン-TC に係わる安全情報について

時下ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申しあげます。

さて、本年度の狂犬病予防事業におきまして、弊社「狂犬病ワクチン-TC」の注射後に死亡又は重篤な副反応を認めた情報を 4 月 23 日時点で 6 件把握し、その全例について薬事法第 77 条の 4 の 2 第 1 項の規程に基づき農林水産省に報告し、安全の確保に努めてまいりました。また、農林水産省より同条の 4 の 2 第 2 項に基づいた獣医師からの副作用報告が上記以外に 3 件あった旨連絡を受けております。

すでに添付文書の「使用上の注意」に副反応及びその対応について記載し、注意を喚起しているところではございますが、当該ワクチン注射前の動物の健康状態の確認及び注射後の十分な観察について、当該事業に係わる貴会会員の方々へ再度の注意喚起を御願い申し上げます。

当該ワクチン注射後に発現した症状であれば、アナフィラキシーに対応した治療をご検討下さい。

また、飼主様に対し、ワクチン接種後の動物について、帰宅後の激しい運動を控え、十分に観察し、重篤な副反応を認めた場合は、直ちに獣医師の診察を受けていただくようご指導いただきたく、併せて御願い申し上げます。

調査の結果、特定のロットにより発生している事象ではなく、現時点で有効期間内にある全ロットにつきまして品質上の問題はございません。

今後とも製品の品質及び安全の確保に努めてまいりますので、ご指導、ご協力のほど宜しく御願い申し上げます。

<本件に関する連絡先>

株式会社 微生物化学研究所
安全管理統括部門 安全管理責任者 稲垣 修司
TEL : 0774-22-4518 (代)
FAX : 0774-24-1407
e-mail : yakuji_kikaku@kyotobiken.co.jp

